



視覚障がい者体験・ガイド体験

視覚障がい体験学習のねらい

見えないことへの「不安感」や「不便さ」を体感していただくだけでなく、視覚以外から得られる情報を活用する体験をすること。

障がいを持ちながら生活している人々について知り、視覚障がいを持つ人々の苦労や工夫、願いなどを理解し、その方々に対して自分にできるサポートの仕方を考えます。

《体験方法》

- 1 ペーパーをはさみアイマスクを付けてください。
- 2 白杖を使用して安全の確保や情報収集をしてください。
- 3 体験者はガイドのひじを軽く握って、ガイドは体験者の半歩前を歩きましょう。せまいところではガイドが前になり一列で歩きます。
- 4 ガイドするときには一番大切なのは声掛けです。歩き始める時や止まる時、曲がる時など次に何をするのかを具体的に伝えてください。「出発します」「止まります」「階段を10段登ります」クロックポジションを使うのも一つです。「3メートル先、2時の方向に曲がります」などを伝えられればいいですね。
- 5 体験者は白杖を振り回さないこと、ガイドは歩くスピードや二人分の歩くスペースを確保するなど体験者の安全を第一に考えてください。